

## みどりの食料システム戦略

### ～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

持続的食料システム調整官 齊賀 大昌

---

我が国の食料・農林水産業は、温暖化・自然災害の増加、生産者の減少など様々な課題に直面している一方、さらなる輸出増加のポテンシャルが高いこと、二酸化炭素の吸収源をはぐくむ重要な産業であると同時に、地域資源を活用した再生可能エネルギー等により、温室効果ガスの排出削減にも貢献できること、最新の科学技術により、食料不足や気候変動などのSDGsのゴール達成に対応できることなど、世界が直面する課題解決に向けて大きな可能性を有している。あらゆる産業において、SDGsや環境への対応が必要となり、企業価値にも影響するといわれる中、我が国の食料・農林水産業においても的確に対応する必要がある。

本講演では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための新たな政策方針として策定した「みどりの食料システム戦略」を中心に、環境政策について最新の状況をお話しする。

---

#### 【講演者の紹介】

氏名：齊賀 大昌（さいが だいすけ）

略歴：平成14年3月 東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程修了後、農林水産省入省。在イタリア日本国大使館二等書記官、生産局技術普及課課長補佐、生産局総務課課長補佐、農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室長などを経て、令和4年6月 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ持続的食料システム調整官（現職）。